



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月10日

上場取引所 名

上場会社名 コムシード株式会社  
コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽成 正己  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 小倉 誠

TEL 03-5289-3114

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	871	36.8	54	—	48	—	43	—
26年3月期第3四半期	637	27.1	△64	—	△68	—	△70	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	9.35	8.93
26年3月期第3四半期	△16.50	—

(注)

- 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たりの四半期純利益につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し算定しております。
- 26年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	651	327	50.2
26年3月期	416	181	43.7

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 326百万円 26年3月期 181百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	34.1	60	—	55	—	50	—	10.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たりの当期純利益の予想値は、平成27年3月期第3四半期における期中平均株式数を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	4,790,400 株	26年3月期	4,513,400 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	16,653 株	26年3月期	16,600 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	4,680,630 株	26年3月期3Q	4,252,512 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っており、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
4. 補足情報 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

スマートフォンの普及が世界的に広がる中、モバイル端末におけるインターネット利用は引き続き急拡大しており、当社を取り巻く事業環境もそれに伴い急激な変化を遂げております。

このような中、当社はスマートフォン向けのアプリケーション開発およびサービスを中心に事業を展開しております。当第3四半期累計期間につきましては、既存事業のソーシャルゲーム『グリパチ』が順調に推移したことや、スマートフォン向けゲームアプリにおける人気コンテンツのタイムリーな配信、継続的な開発及び運用運営の受託案件によって、売上高は計画通り順調に推移しました。あわせて社内開発の稼働率の向上による外注費圧縮に努めたことで、利益面においても堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は871,853千円(前年同期比36.8%増)、営業利益54,447千円(前年同期は営業損失64,595千円)、経常利益48,419千円(前年同期は経常損失68,427千円)、四半期純利益43,786千円(前年同期は四半期純損失70,145千円)となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

①ソーシャルゲームについては、バーチャルホール『グリパチ』が引き続き好調となっており、ユーザー数は11月に会員数が200万人を突破しております。人気機種のアプリ配信とそれに伴うイベントの開催など、ユーザー満足度の向上を図る施策が功を奏し、売上も順調に推移しております。

②スマートフォンゲームアプリについては、一部人気機種のアプリ配信を行ったほか、新作アプリの開発を進行いたしました。

③その他、新規事業については、新作ゲームのブラッシュアップのため、開発期間を延長して対応にあっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末から234,769千円増加し、651,047千円(前事業年度末比56.4%増)となりました。

これは、主に流動資産で現金及び預金147,815千円、受取手形及び売掛金36,287千円、無形固定資産34,781千円が増加したことによるものです。なお、現金及び預金の増加は、主に転換社債型新株予約権付社債100,000千円の発行及び新株予約権による株式の発行101,215千円によるものです。

## ②負債

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末から89,575千円増加し、323,913千円(前事業年度末比38.2%増)となりました。

これは、主に流動負債で買掛金31,501千円の減少と固定負債で転換社債型新株予約権付社債100,000千円の増加によるものです。

## ③純資産

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末から145,194千円増加し、327,133千円(前事業年度末比79.8%増)となりました。

これは、主に第2回新株予約権が全て行使されたことによる資本金50,607千円、資本剰余金50,607千円の増加と、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金43,786千円の増加によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後、当社業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

## 2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当第3四半期累計期間において営業利益、四半期純利益を計上したものの、平成26年3月期まで3期連続して営業損失、当期純損失を計上している状況から、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社はこのような状況に対し、事業を展開するモバイル事業におけるフィーチャーフォン市場からスマートフォン市場への移行や、課金方法などのビジネスモデルの変化に合わせ、既存事業の強化や新規事業の立ち上げなどによる事業内容の再構成、および内部体制の再構築を進めてまいりました。それにより当第3四半期累計期間において、収益の拡大を図るとともにコストの削減を推進し、安定的に営業利益、経常利益を計上できる状況となりつつあります。

また、先行投資的な費用となる開発費や、優良なコンテンツ獲得に必要な契約料などに備えるため、当社は平成26年5月12日開催の取締役会において、第三者割当により発行される第2回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第2回新株予約権の募集を行うことを決議し、本資金調達により資金を確保いたしました。

これらの状況から、継続企業の前提に関する重要な不確実性は、認められないものと判断しておりますので、四半期財務諸表の注記には記載しておりません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	127,013	274,828
受取手形及び売掛金	176,690	212,978
商品及び製品	7,053	6,381
原材料及び貯蔵品	3,630	2,934
その他	36,062	52,618
貸倒引当金	△7	△13
流動資産合計	350,441	549,728
固定資産		
有形固定資産	20,064	16,784
無形固定資産	21,619	56,400
投資その他の資産		
破産更生債権等	30,717	30,150
その他	24,152	28,133
貸倒引当金	△30,717	△30,150
投資その他の資産合計	24,152	28,133
固定資産合計	65,836	101,319
資産合計	416,277	651,047
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	115,678	84,176
1年内返済予定の長期借入金	16,668	16,668
未払法人税等	4,110	5,628
その他	32,523	63,327
流動負債合計	168,980	169,800
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	100,000
長期借入金	33,332	22,220
退職給付引当金	10,269	10,269
役員退職慰労引当金	19,329	19,197
その他	2,427	2,427
固定負債合計	65,357	154,113
負債合計	234,338	323,913
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	631,367	681,975
資本剰余金	62,476	113,084
利益剰余金	△494,549	△450,763
自己株式	△17,355	△17,403
株主資本合計	181,939	326,893
新株予約権	—	240
純資産合計	181,939	327,133
負債純資産合計	416,277	651,047

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	637,394	871,853
売上原価	442,676	557,448
売上総利益	194,717	314,404
販売費及び一般管理費	259,312	259,956
営業利益又は営業損失(△)	△64,595	54,447
営業外収益		
受取利息	9	21
貸倒引当金戻入額	1,701	567
その他	159	0
営業外収益合計	1,870	588
営業外費用		
支払利息	380	603
支払手数料	3,337	531
株式交付費	1,984	—
社債発行費	—	5,482
営業外費用合計	5,702	6,617
経常利益又は経常損失(△)	△68,427	48,419
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△68,427	48,419
法人税、住民税及び事業税	1,717	4,632
法人税等合計	1,717	4,632
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△70,145	43,786

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第2回新株予約権の行使に伴い、前事業年度末から当第3四半期会計期間末までに合計101,215千円の資金調達を行いました。

この結果、当第3四半期累計期間において資本金が50,607千円、資本準備金が50,607千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が681,975千円、資本準備金が113,084千円となっております。

4. 補足情報

設備投資の計画

当第3四半期累計期間において、新たに計画した主要な設備は次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定額		資金調達方法	着工及び完了予定年月	
		総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了
本社 (東京都千代田区)	ソフトウェア	未定	39,851	自己資金	平成26年10月	平成27年6月

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しております。

3. 投資予定額の総額については未確定であるため、未定としております。